



2025年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年5月13日

上場会社名 高砂鐵工株式会社 上場取引所 東
コード番号 5458 URL <http://www.takasago-t.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 勤二
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 梅澤 茂樹 TEL 03-5399-8111
定時株主総会開催予定日 2025年6月26日 配当支払開始予定日 2025年6月27日
有価証券報告書提出予定日 2025年6月26日
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期の連結業績（2024年4月1日～2025年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	12,100	△0.7	512	31.3	521	31.9	333	42.0
2024年3月期	12,181	△0.5	389	△49.7	395	△49.3	234	△55.1

(注) 包括利益 2025年3月期 434百万円 (120.2%) 2024年3月期 197百万円 (△62.2%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年3月期	111.00	—	7.3	5.6	4.2
2024年3月期	78.18	—	5.4	4.3	3.2

(参考) 持分法投資損益 2025年3月期 ー百万円 2024年3月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	9,046	4,736	52.4	1,577.63
2024年3月期	9,659	4,406	45.6	1,467.88

(参考) 自己資本 2025年3月期 4,736百万円 2024年3月期 4,406百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年3月期	39	△272	△105	1,318
2024年3月期	910	△246	△105	1,656

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年3月期	—	0.00	—	35.00	35.00	105	44.8	2.4
2025年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00	120	36.0	2.6
2026年3月期 (予想)	—	0.00	—	40.00	40.00		36.4	

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	6,090	1.2	80	△69.7	75	△72.0	30	△83.2	9.99
通期	12,390	2.4	510	△0.4	500	△4.1	330	△1.0	109.92

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2025年3月期	3,008,000株	2024年3月期	3,008,000株
2025年3月期	5,853株	2024年3月期	5,813株
2025年3月期	3,002,184株	2024年3月期	3,002,209株

(参考) 個別業績の概要

2025年3月期の個別業績（2024年4月1日～2025年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	6,416	2.5	179	161.0	206	111.6	138	169.5
2024年3月期	6,258	0.4	68	△79.2	97	△72.6	51	△80.1

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期	46.00	—
2024年3月期	17.07	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	6,081	3,310	54.4	1,102.76
2024年3月期	6,559	3,280	50.0	1,092.82

(参考) 自己資本 2025年3月期 3,310百万円 2024年3月期 3,280百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報等の注記)	10
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当社グループは、2024年度から2026年度を対象とした新中期計画を策定し、その基本方針のもと諸施策を実行することにより、売上200億円以上、ROS8.0%以上（個別10%以上）、配当性向30%以上を目指し取り組んでおります。

その結果、当連結会計年度の売上高は12,100百万円（前年同期比0.7%減）、営業利益は512百万円（前年同期比31.3%増）、経常利益は521百万円（前年同期比31.9%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は333百万円（前年同期比42.0%増）となりました。

鉄鋼製品事業

鉄鋼製品事業では、ステンレス事業の市況価格の低下、みがき帯鋼事業では自動車関連産業における認証不正問題や中国市場での日系メーカーの販売不振などの影響による数量減もあり、売上高は11,911百万円（前年同期比0.7%減）となりました。利益面では、販売価格の改善や徹底したコスト低減に取り組み、加えて在庫評価差等のプラス要因もあり、経常利益は408百万円（前年同期比37.9%増）となりました。

不動産事業

不動産事業の業績は、売上高は188百万円（前年同期比0.2%減）、経常利益は112百万円（前年同期比14.0%増）となり、引き続き業績を利益面で下支えしております。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における資産総額は9,046百万円となり、前連結会計年度末より613百万円減少いたしました。これは主に商品及び製品等棚卸資産が144百万円増加しましたが、現金及び預金が337百万円、売上債権が487百万円減少したことによるものです。

負債総額は4,310百万円となり、前連結会計年度末より942百万円減少いたしました。これは主に仕入債務が895百万円減少したことによるものです。

純資産につきましては、4,736百万円となり前連結会計年度末より329百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が228百万円増加したことによるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、1,318百万円となり、前連結会計年度に比べ337百万円減少いたしました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は39百万円（前年同期比870百万円減）となりました。主な資金の増加要因は、税金等調整前当期純利益519百万円、減価償却費153百万円、売上債権の減少額487百万円であり、主な資金の減少要因は、棚卸資産の増加額144百万円、仕入債務の減少額901百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は272百万円（前年同期比26百万円増）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出248百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は105百万円（前年同期比0百万円増）となりました。これは主に配当金の支払105百万円であります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
自己資本比率 (%)	44.3	45.9	48.8	45.6	52.4
時価ベースの 自己資本比率 (%)	30.6	30.4	27.8	27.6	32.5
キャッシュ・フロー対 有利子負債比率 (年)	0.9	—	—	—	—
インタレスト・ カバレッジ・レシオ (倍)	47.3	158.5	—	363.6	15.9

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

(注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。

(注5) 2022年3月期以降のキャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)は、有利子負債が存在しないため記載しておりません。

(注6) 2023年3月期のインタレスト・カバレッジ・レシオについては、営業キャッシュ・フローがマイナスのため記載しておりません。

(4) 今後の見通し

当社グループ製品の最大の最終ユーザーである自動車業界は、国内においては個人消費の動向、海外においては販売台数や為替相場等の影響を受けるため、その動向によっては当社グループの業績に影響を与える可能性があります。また、みがき帯鋼の販売価格及び原料価格改定の影響やステンレスの市況動向も当社グループの業績へ影響を与える可能性があります。

2026年3月期の通期連結業績の見通しにつきましては、上期において、原料価格改定の影響による一過性の在庫評価損、また継続的な諸コストの増加、加えて今中期計画の取組みとして社内システム再構築が本格的にスタートすることに伴うコスト増加要因はありますが、引き続き払販や販売価格の改善、徹底したコスト低減に取組み、売上高12,390百万円、営業利益510百万円、経常利益500百万円、親会社株主に帰属する当期純利益330百万円とし、概ね前期並みを予想しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,701	1,363
受取手形	555	149
電子記録債権	826	1,083
売掛金	2,233	1,895
商品及び製品	1,235	1,197
仕掛品	462	497
原材料及び貯蔵品	845	993
その他	79	92
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	7,938	7,270
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,290	3,344
減価償却累計額	△2,559	△2,594
建物及び構築物（純額）	730	750
機械装置及び運搬具	6,810	6,883
減価償却累計額	△6,300	△6,364
機械装置及び運搬具（純額）	509	519
土地	236	236
建設仮勘定	2	1
その他	544	558
減価償却累計額	△497	△497
その他（純額）	46	60
有形固定資産合計	1,525	1,567
無形固定資産	22	42
投資その他の資産		
投資有価証券	26	22
繰延税金資産	54	58
その他	96	90
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	173	165
固定資産合計	1,721	1,775
資産合計	9,659	9,046

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,587	1,683
電子記録債務	1,052	1,062
未払法人税等	32	144
未払消費税等	39	55
契約負債	102	74
賞与引当金	63	60
その他	307	258
流動負債合計	4,185	3,340
固定負債		
役員退職慰労引当金	49	62
退職給付に係る負債	885	774
資産除去債務	32	32
その他	99	99
固定負債合計	1,067	969
負債合計	5,253	4,310
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,504	1,504
利益剰余金	2,933	3,161
自己株式	△6	△6
株主資本合計	4,430	4,658
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9	6
退職給付に係る調整累計額	△33	71
その他の包括利益累計額合計	△23	77
純資産合計	4,406	4,736
負債純資産合計	9,659	9,046

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
売上高	12,181	12,100
売上原価	10,673	10,407
売上総利益	1,507	1,692
販売費及び一般管理費		
販売費	664	629
一般管理費	452	551
販売費及び一般管理費合計	1,117	1,180
営業利益	389	512
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	0	0
仕入割引	1	2
助成金収入	12	10
受取和解金	—	6
その他	2	4
営業外収益合計	17	24
営業外費用		
支払利息	2	2
手形売却損	2	2
支払手数料	—	5
売上割引	6	5
その他	0	0
営業外費用合計	11	15
経常利益	395	521
特別損失		
固定資産除却損	2	1
特別損失合計	2	1
税金等調整前当期純利益	393	519
法人税、住民税及び事業税	113	187
法人税等調整額	45	△1
法人税等合計	158	186
当期純利益	234	333
親会社株主に帰属する当期純利益	234	333

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
当期純利益	234	333
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5	△3
退職給付に係る調整額	△42	104
その他の包括利益合計	△37	101
包括利益	197	434
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	197	434
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本				その他の包括利益累計額			純資産合計
	資本金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	1,504	2,803	△6	4,300	4	9	13	4,314
当期変動額								
剰余金の配当		△105		△105				△105
親会社株主に帰属する当期純利益		234		234				234
自己株式の取得			△0	△0				△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					5	△42	△37	△37
当期変動額合計	—	129	△0	129	5	△42	△37	92
当期末残高	1,504	2,933	△6	4,430	9	△33	△23	4,406

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本				その他の包括利益累計額			純資産合計
	資本金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	1,504	2,933	△6	4,430	9	△33	△23	4,406
当期変動額								
剰余金の配当		△105		△105				△105
親会社株主に帰属する当期純利益		333		333				333
自己株式の取得			△0	△0				△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					△3	104	101	101
当期変動額合計	—	228	△0	228	△3	104	101	329
当期末残高	1,504	3,161	△6	4,658	6	71	77	4,736

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	393	519
減価償却費	199	153
売上債権の増減額 (△は増加)	△307	487
棚卸資産の増減額 (△は増加)	62	△144
仕入債務の増減額 (△は減少)	910	△901
固定資産除却損	2	1
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△13	12
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	13	△6
未収入金の増減額 (△は増加)	△32	△8
未払費用の増減額 (△は減少)	△0	△4
受取利息及び受取配当金	△0	△0
支払利息	2	2
その他	△129	△4
小計	1,098	106
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△2	△2
法人税等の支払額	△186	△64
営業活動によるキャッシュ・フロー	910	39
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△244	△248
有形固定資産の除却による支出	△2	△1
無形固定資産の取得による支出	—	△22
その他	0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△246	△272
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△105	△105
財務活動によるキャッシュ・フロー	△105	△105
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	559	△337
現金及び現金同等物の期首残高	1,097	1,656
現金及び現金同等物の期末残高	1,656	1,318

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは製品・サービス別セグメントから構成されており、「鉄鋼製品事業」、及び「不動産事業」の2区分を報告セグメントとしております。

鉄鋼製品事業はみがき帯鋼、みがき特殊帯鋼、ステンレス鋼帯等の製造・販売を行っております。不動産事業は不動産の賃貸、管理を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のために採用されている会計処理基準に基づく金額により記載しております。

報告セグメントの利益は経常利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自2023年4月1日至2024年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	鉄鋼製品事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,991	189	12,181	—	12,181
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	11,991	189	12,181	—	12,181
セグメント利益	296	98	395	—	395
セグメント資産	8,020	401	8,421	1,238	9,659
その他の項目					
減価償却費	179	20	199	—	199
受取利息	0	0	0	△0	0
支払利息	2	0	3	△0	2
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	189	—	189	—	189

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント資産の調整額1,238百万円には、各報告セグメントに配分していない全社資産1,238百万円が含まれております。全社資産は、主に当社での余資運用資金（現金及び預金）、長期投資資金（投資有価証券）であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の経常利益と一致しております。

当連結会計年度（自2024年4月1日至2025年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	鉄鋼製品事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,911	188	12,100	—	12,100
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	11,911	188	12,100	—	12,100
セグメント利益	408	112	521	—	521
セグメント資産	7,629	394	8,024	1,021	9,046
その他の項目					
減価償却費	133	19	153	—	153
受取利息	0	0	0	△0	0
支払利息	2	0	3	△0	2
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	194	—	194	—	194

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント資産の調整額1,021百万円には、各報告セグメントに配分していない全社資産1,021百万円が含まれております。全社資産は、主に当社での余資運用資金（現金及び預金）、長期投資資金（投資有価証券）であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の経常利益と一致しております。

【関連情報】

前連結会計年度（自2023年4月1日至2024年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：百万円)

顧客の名称	売上高	関連するセグメント名
寿産業株式会社	1,688	鉄鋼製品事業

当連結会計年度（自2024年4月1日至2025年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：百万円)

顧客の名称	売上高	関連するセグメント名
寿産業株式会社	1,896	鉄鋼製品事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自2023年4月1日至2024年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自2024年4月1日至2025年3月31日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自2023年4月1日至2024年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自2024年4月1日至2025年3月31日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自2023年4月1日至2024年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自2024年4月1日至2025年3月31日）

該当事項はありません。

(1株当たり情報の注記)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
1株当たり純資産額	1,467円88銭	1,577円63銭
1株当たり当期純利益金額	78円18銭	111円00銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益金額（百万円）	234	333
普通株主に帰属しない金額（百万円）	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額 （百万円）	234	333
期中平均株式数（千株）	3,002	3,002

(重要な後発事象の注記)

該当事項はありません。